

# 建設標

## 子どもの被害社会全体が意識

川崎市で、51歳の男が児童ら19人を刺して自殺するという事件が起きた。仕事中、スマホに配信されたニュース速報を見て、しばらく声が出なかった。無差別に人を襲い、しかも裁かれることもなく自殺するとは、なんと卑劣な犯人だろう。

このところ、小さな子どもたちが事件や事故の被害に遭ったという報道が続いている。亡

くなった子どもたちは、これから大人になって、さまざまな楽しいことやうれしいことを経験できただろう。僕には子どもがいないけれど、親御さんたちの心境を思うと胸がはち切れそう

だ。フランスの作家サンテグジュペリは、「人間であるとは、まさに責任を持つことだ。自分には関係がないような悲惨を前に

して、恥を知ることだ」と書いている。次代を担う子どもたちが、このような悲惨な目に遭ったことについて、社会全体が恥の意識を持たなければならぬと思う。また、犯罪の被害者となった方々に対して、社会全体が責任を持ってサポートするべきだと思う。それがまさに、人たるゆえんなのだから。差し当たり、自分には何ができるだろうか。

長野市 板谷健太郎

(弁護士・44)